

提言第10号 大腸内視鏡検査等の前処置に係る死亡事例の分析

事例12

< 事例概要 >

- ・ 80 歳代。甲状腺がん多発転移。普段から下剤を服用。
- ・ 1 日数回の水様便があり、PET-CT 検査でS 状結腸がんの疑いあり、大腸内視鏡検査が予定された。
- ・ 検査前日、自宅でセンノシド、ピコスルファートナトリウムを10 mL 服用した。反応便は不明。検査当日、モビレップ服用後、反応便が数回あった。検査開始前に呼吸困難を認めたため酸素投与し、回復後検査が開始された。検査終了後に呼吸が停止し、3 日後死亡した。
- ・ 死因は、胸水による低酸素血症、致死性不整脈の疑い。死亡時画像診断（Ai） 有、解剖有。